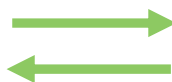


医学部附属病院看護部初！ 株式会社資生堂との受託研究の成果が国際学術雑誌に掲載決定

がん治療に伴う外見変化に対し、化粧療法を用いて患者QOL※の向上をめざした株式会社資生堂との受託研究を実施



都道府県癌拠点病院
癌の総合医療



美容教育関連事業の
リーディングカンパニー

<https://corp.shiseido.com/seminar/jp/fabo/index.html>より

資生堂受託研究(前向き臨床介入比較研究)

研究課題名: 化学療法の美容上の副作用に対する
化粧療法によるがん患者のQOLの向上効果の検討
研究期間: 2022年4月～2023年9月
研究対象: 化学療法施行がん患者 20名

※ QOLとは
Quality of life(生活の質)の略称
生活や人生への満足度、幸福感
にも関連する概念

1

国際学術雑誌掲載論文

Effects of cosmetic therapy on cosmetic side effects of chemotherapy to improve the quality of life of cancer patient

がん患者の生活の質を向上させるための、化学療法に伴う美容上の副作用に対する化粧療法の効果

筆 者: 畑中明子¹ 河野洋平² 上野広見¹ 狩生雅子¹ 矢幡彌奈¹ 村田美雪¹
藤原美香¹ 大亀かおる¹ 荒金郁代¹ 富松千保² 長澤由依子² 平塚孝宏²
大津 智² 河野康志² 緒方正男² 波多野豊² 富永志津代¹ 猪股雅史²

1) 大分大学医学部附属病院 看護部

2) 大分大学医学部

掲載誌: Journal of Cancer Therapy



2

研究背景

外来治療環境の整備

社会生活を送りながらがん治療を受ける患者が増加

副作用による外見の変化

社会と接することで外見の変化を意識する機会が増加

患者のQOLへの影響

自尊感情の低下、社会生活や対人関係の変化

化粧療法とは

皮膚の外見変化を伴う皮膚疾患に対して、スキンケア、専用化粧品を用いたカモフラージュ、もしくは化粧行為を通して患者のQOLの改善を目指した療法

化粧療法前



化粧療法後



研究方法

対象: 抗がん剤治療により脱毛、または皮膚色素沈着を生じた患者

化粧療法
手技の習得

同意取得
カウンセリング

化粧療法
(1回目)

化粧療法
(2回目)

指導後
評価

- がん看護専門看護師の講習受講(資生堂美容技術者による)



- 看護師が主体
- 化粧療法の手技指導

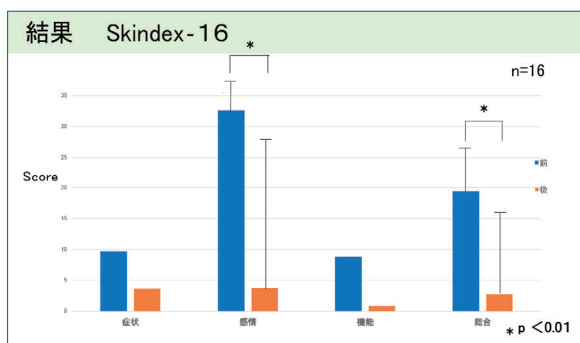


- 患者の実施状況を確認

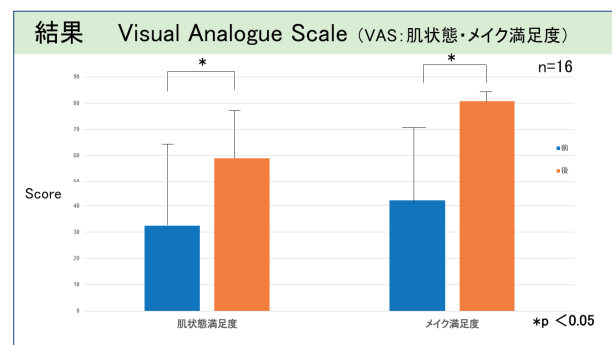
3

研究結果

研究登録対象: 20名 有効性解析対象者: 16名



化粧療法の前後で感情スコアと総合スコアが有意に改善



化粧療法の前後で肌状態満足度とメイク満足度が有意に改善

本研究成果の意義

化粧療法に関するエビデンスが国際的に発信され、がん患者のルックスケア向上を期待

4